

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	・安全面を優先するあまり、掃出し口の施錠や柵と等の、行動のブロックを行っている。	・身体拘束をしないケアの取り組み。	・毎月の定例会議の中に、身体拘束委員会の報告を行いながら、身体拘束について検討する機会を設ける。鍵、柵の検討を行っていき不必要とされるものは、取り外していく。	12ヶ月
2	33	・これまで、看取りの経験がないため、事業所としての看取りに対しての文章がない。	・看取り、重度化に対しての方針、方向性を文章化して重要事項説明書に記載をする。	・看取りに対して法人としての指針(文章化)の作成を行い。入居者、家族、職員の意見を聞きながら方向性を検討する。	12ヶ月
3	36	・言葉遣いや態度には、配慮を行っているが、職員の対応には差が見られる。	・職員全員が、入居者一人一人の人格を尊重した言葉かけ、対応を身に着ける。	・年1回の接遇の研修の実施。4月24日に接遇の法人研修予定。その都度、指導を実施していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。